

市長	副市長	部長	課長等	リーダー	担当	供覧	報告者
第3回養父市振興計画審議会会議録							
期 日	平成22年2月9日(火) 午後1時30分～4時50分						
場 所	養父市立養父公民館2階 視聴覚室						
出席並びに欠席委員 出席20名 欠席4名 早退1名 凡例 ○：出席 ×：欠席	委員氏名		出欠等	委員氏名		出欠等	
	会 長	荒田幹夫	○	委 員	仮屋美子	○	
	副会長	大林賢一	○	委 員	宇都良栄子	○	
	副会長	正垣道子	○	委 員	梅井逸郎	○	
	委 員	池田和揮	×	委 員	村上隆司	○	
	委 員	山下邦子	×	委 員	田渕久和	○	
	委 員	雑賀 学	×	委 員	吉田明博	○	
	委 員	圓山 光	○	委 員	米田一之	×	
	委 員	松岡 勇	○	委 員	池田ビルギット	○	
	委 員	田中今子	○	職員委員	満田理恵	○	
	委 員	田村 譲	○	職員委員	奥藤 啓	○	
	委 員	山根美智子	○	職員委員	井平 聡	○	
	委 員	小松原貴美子	○	職員委員	塚本 竜	○	
	委 員	藤原光子	○				
アドバイザー	松原永季・スタジオ・カタリスト代表取締役					○	
事務局	政策監理部長	児島一裕	×	企画政策課主査	田村光司	○	
	企画政策課長	阿部 稔	×	企画政策課主査	岡 和昭	×	
	企画政策課副主幹	藤野英希	○	企画政策課主査	安達洋道	×	
<p>1 開会 (大林副会長)</p> <p>2 あいさつ (荒田会長)【龍馬伝を見て】リーダーは常に危機感をもち、みんなに正しく伝えなければならない。目指す夢をもつ、絶えず危機感を持つことが必要。総合計画はつくることが目的ではなく、養父市をよくすることが真の目的である。変わることができるストーリーをみんなとつくりたい。</p> <p>3 進め方の説明 (松原アドバイザー) 今年度は、将来像や優先順位をまとめ、来年度に施策体系や事業を考える。今日のテーマは「これからの養父市の望ましい将来像を描く(1)」で、本日はいろいろ意見を出し、次回にそれをまとめる。</p> <p>4 前回の振り返り (松原アドバイザー) 別紙の「養父市の現状を相互に確認する」等により、前回のまとめを再度確認。</p> <p>5 これまでの養父市の将来像について (事務局) 現在の養父市総合計画、養父市まちづくり基本条例、養父市民憲章の制定経過、考え方、制定に当たっての委員の思いなどを説明。</p>							

(松原アドバイザー) 養父市総合計画においては、「響きあう心 拓く明日 但馬中央の郷」、「元気と勇気」、「安心と安全」、「自立と協働」。養父市まちづくり基本条例においては、「先人が培った豊かな心」、「自助自立の精神」、「くいつまでも住みたい」と思えるまち」、「人権尊重、安全で安心して暮らせる」、「あらゆる人にやさしい、自然、歴史、文化を大切にする」、「活力を生み出す」。養父市民憲章においては、「はぐくもう 和の心」「自然の恵み 守ります」「しあわせ築こう ひろげよう」「いのち輝く わたしたちの未来」と、それぞれにキーポイントがある。

6 ワークショップ

- (1) グループ分け：住所が地理的に養父市の中心部に近いと思う人順に並び、1班から5班に分かれる
- (2) 自己紹介シート「10年後の(多分)自己紹介」に基づき、自己紹介
- (3) 養父市の望ましい将来を話し合う
- (4) グループ替え(記録者を残し、最初のグループで一緒だった人と一緒にならないようグループを替わる)後、再度、養父市の望ましい将来を話し合う
- (5) 最初のグループに戻って、情報を交換し、グループで整理する。

7 各グループ発表

グループごとに発表者を決め、課題、可能性、提案を報告した。

※各班発表のまとめについて別紙のとおり。

8 全体のまとめ

(松原アドバイザー) 今回は、これ(各グループの発表)を元に、共通していること、大きい、小さいに分けて、養父市としてこういう将来にしたいということをもとめたい。

9 事務局からの連絡

次回の開催予定を連絡

日時／2月23日(火)午後1時30分

場所／関宮エイドホール 会議室

10 閉会

(正垣副会長)